

# 祝 辞

福島県中小企業団体中央会 会長 新澤 昌英



福島県中小企業家同友会が創立30周年を迎えられましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

貴会は、昭和52年2月、福島市・郡山市の有志46名による異業種団体として設立されました。以来、異業種の交流を通して、「経営指針づくり」「人づくり」「地域づくり」を目指し、常に「激動と共に」「逆境こそチャンス」の姿勢でお互いの知恵や経験を惜しみなく交流し、教えあい、学びあい、励ましあいながら「自主・自立型の中小企業」づくりに大きく寄与されてきたところであります。

同友会の輪は今や、県内全域に広がり、今日では1500有余の会員を擁する県内有数の経営者団体に成長発展を遂げられ、創立30周年を迎える今、県内中小企業にとって、なくてはならない存在となりました。

また、平成7年には中小企業等協同組合法による協同組合を設立し、事業体制を整備・拡充し、共同購買事業、共同求人事業、共同労務管理事業等の経済事業実施を通じて、中小企業の経営基盤の一層の向上に取り組みされてこられました。

これもひとえに、過足満雄理事長をはじめとする歴代の役員、会員の皆様方のご尽力と協力の賜であり、深く敬意を表する次第であります。

さて、我が国の経済は戦後最長の景気の続伸の中にあると云われていますが、地域間格差や企業間格差などもあり、中小企業の多くにはまだその実感が湧かない状況にあります。加えて原油価格の高止まりや原材料の高騰、少子高齢化、後継者問題等々、地域経済を取り巻く経営環境は、なお多くの難題が山積しており、予断を許さない状況にあります。

このような中で、今後、貴会・貴組合の果たすべき役割は、従来より増して非常に大きなものがあります。創立30年の節目を機に、理事長はじめ役員の皆様を中心に会員相互の協力を一層深められ、これまで蓄積された経営資源や人的資源を十分活用され、傘下1500余名の会員の健全なる発展に寄与されますよう期待するものであります。

本会といたしましても、全力を挙げてご支援・ご協力致したいと考えておりますので、今後とも県内の中小企業振興のため、なお一層のご尽力をいただきますことをお願い申し上げます。

終わりに、貴会・貴組合の今後益々のご発展と会員各位のご繁栄ご健勝を心よりご祈念申し上げます、お祝いの言葉と致します。